

# 山弓連 平成30年第1号

平成30年5月

発行：山梨県弓道連盟

## 公認資格制度施行

全日本弓道連盟において、4月1日より公認資格制度がスタートしました。今後地方審査における審査員、地方大会の審判委員、地連主催の講習会の講師など公認資格を有する委員により運営することが制度化されました。

公認資格制度について、認識を深めていただくため、概要を以下に示します。

### 公認資格認定制度について

公益財団法人全日本弓道連盟

公益財団法人 全日本弓道連盟（以下「全弓連」という）は平成25年4月4日 開催の臨時評議員会において承認された「改革大綱」によって、基本的事業（昇段審査・各種講習会・各種競技大会）を公平・公正に運営するため、審査会、指導講習会・研修会、競技会を、公認資格を有する委員により正しい運営が行なえるよう、制度化することにしました。

なお、制定した規程類は平成28年6月2日 第1回理事会において承認決定され、同年6月23日開催の定時評議員会に提示しております。

この制度の名称を「審査委員・審判委員・講師 公認資格認定制度」と称し、要点は以下のとおりです。

#### 《要点》

- ・公認資格の区分は中央委員と地方委員の二区分とする。
- ・全弓連の公認資格は日本体育協会の認定する「公認スポーツ弓道指導者」等とリンク（連結）することとした。
- ・資格の保有期間は有効期限付きとして更新出来ることとした。
- ・資格の認定機関は、中央委員は全弓連とし、地方委員は各地連とする。
- ・認定方法は「公認資格認定講習会」とし、各種講習会・研修会の日程内に組み込み進める。
- ・日本体育協会の資格（指導員・上級指導員・コーチ）は日本体育協会が認定する。

- ・公認資格保有者の管理は別に定める「名簿」による。
- ・制度の施行  
施行の周知と準備・体制整備期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日  
施行日 平成30年4月1日

### 第2章 公認資格

（資格の区分、担当範囲、対象者及び制限事項）

第3条 各資格の区分、担当範囲、対象者及び制限事項は、以下のとおりとする。

（1）審査委員（審査委員長を含む）

① 中央審査委員

- ア すべての審査会（中央審査会、外国審査会、連合審査会、地方審査会）の審査委員を担当できる。
- イ 教士八段以上（日体協公認弓道指導者資格を保有していること。）
- ウ 年齢は、原則として満80歳までとする。
- エ 全弓連の監事は、投票権のある審査委員を務めることはできない。

② 地方審査委員

- ア 連合審査会及び地方審査会の審査委員を担当できる。  
ただし、会長から委嘱があるときは、五段以下の審査を行う中央審査会の審査委員を担当できる。
- イ 称号受有者（日体協公認弓道指導者資格を保有していること。）
- ウ 年齢及び役職による制限はしない。

（2）審判委員

① 中央審判委員（審判委員長を含む）

- ア すべての競技会の審判委員を担当できる。
- イ 教士八段以上（日体協公認弓道指導者資格を保有していること。）
- ウ 年齢は、原則として満80歳までとする。
- エ 全弓連の監事は、採点や投票権のある審判委員を務めることはできない。

② 地方審判委員

- ア 連合大会及び地方大会の審判委員を担当できる。  
ただし、会長から委嘱のある時は、国民体育大会、全日本勤労者弓道選手権大会等、全弓連主催大会の審判委員を担当できる。
- イ 五段以上（日体協公認弓道指導者資格を保有していること）  
ただし、有資格者を確保できない場合は、弓

道競技規則等を熟知した有段者  
とすることができる。(日体協公認弓道指導  
者資格を保有していること。)

- ウ 年齢及び役職による制限はしない。  
ただし、審判委員長・採点審判委員について  
は、称号受有者とする。

(3) 講師

① 中央講師

- ア 全弓連が主催する中央講習会の講師を務め  
るほか、すべての講習会の講師を担当できる。
- イ 教士八段以上(日体協公認弓道指導者資格を  
保有していること。)
- ウ 年齢は、原則として満80歳までとする。
- エ 役職による制限はしない。

② 地方講師

- ア 連合会及び地連が主催する講習会の講師を  
担当できる。  
ただし、会長から委嘱のある時は、全弓連主  
催中央講習会の補助講師を担当できる。
- イ 称号受有者(日体協公認弓道指導者の資格を  
保有していること。)
- ウ 年齢及び役職による制限はしない。

第4章 資格の有効期間及び更新

(資格の有効期間及び更新)

第8条 資格の有効期間及び更新は以下のとおりとす  
る。

- (1) 中央委員資格の有効期間は原則として1年とし、  
更新のための講習会を受講して試験に合格す  
ることにより、さらに1年間更新することがで  
きる。その後も同様とする。
- (2) 地方委員資格の有効期間は3年とし、更新のた  
めの講習会を受講して試験に合格すること  
により、さらに3年間更新することができる。そ  
の後も同様とする。
- 2 前項(1)の更新のための講習会に関する事項に  
ついては第5条(1)及び第6条を準用し、前項  
(2)の講習会に関する事項については、第5条  
(2)及び第6条を準用する。
- 3 資格認定講習会を更新のための講習会と見なす  
ことができる。
- 4 更新のための講習会を年度を繰り上げて受講し、  
資格を更新した場合の有効期間は、その受講から  
3年間とする。
- 5 更新のための講習会の受講者について、職務  
の遂行が困難と判定される場合は更新しない  
ことができる。

山弓連における地方委員登録者数

2018年4月1

認定資格	人数	有効期限	備考
審査委員	37	2021年3月	称号者
審判委員	49	2021年3月	五段以上
講師	37	2021年3月	称号者

※2020年度中に更新(講習)

大会結果

全国ねりんピック県予選

平成30年4月15日(日) 小瀬武道館弓道場  
参加者 15名 ※女性参加者2名

第31回全国健康福祉祭 とやま大会

出場選手

区分	氏名	称号・段位	支部名
選手兼監督	古屋 清記	錬士五段	山梨
選手	渡辺 昇	参段	吉田
選手	雨宮 哲	五段	笛吹
選手	山口 千枝美	三段	笛吹
選手	森岡 博文	錬士六段	甲州
補欠	鈴木 茂雄	錬士六段	大月
補欠	小林 睦美	錬士五段	北杜
予備	渡辺 優	参段	吉田

全国勤労者選手権県予選

平成30年4月15日(日) 小瀬武道館弓道場  
参加5チーム 4企業

横河電機A	9中
日立AMS	12中
石原工業	11中
FANUC	14中
横河電機B	5中

第65回全日本勤労者弓道選手権大会 (水戸)

代表チーム

- ① FANUC
- ② 日立AMS

# 段位別選手権大会 兼 全日本・関東選抜 一次予選

平成30年4月22日(日) 小瀬武道館弓道場  
参加108名 射数4矢2回 計8射  
4中以上が全日本・関東選抜二次予選に進出

## ●段位別選手権大会結果

参段以下の部

順位	氏名	支部名	段位	的中数	競射結果
優勝	渡辺雅宏	富士吉田	弐段	6	○
2位	小谷野優麻	笛吹	弐段	6	×
3位	小澤幸男	富士吉田	参段	6	×

射詰競射。

四段の部

順位	氏名	支部名	段位	的中数	競射結果
優勝	伊藤大智	韮崎	四段	8	
2位	内藤良太	南アルプス	四段	7	
3位	進藤高	甲府	四段	6	

五段の部

順位	氏名	支部名	段位	的中数	競射結果
優勝	中沢友二	教職員	五段	7	○
2位	神田英彦	大月	五段	7	×
3位	上條剛央	上野原	五段	7	×

射詰競射。

称号の部

順位	氏名	支部名	段位	的中数	競射結果
優勝	中澤国弘	甲府	錬士五段	7	
2位	山下弘行	山梨	錬士五段	6	
3位	佐野辰巳	南部	教士七段	6	



**昇段おめでとうございます**

## 錬士号取得特別講習会 (東京)

平成30年2月15～17日 中央道場  
錬士 市川 明

## 関東地域連合審査 (甲府)

平成30年4月29日(日) 小瀬武道館弓道場  
五段 西尾 哲 (大月)  
五段 山本 一博 (教職員)

## 【東海地区】臨時中央審査

平成30年5月20日(日) 名古屋市  
六段 中澤 国広 (甲府)

## 支部だより

### 都留市制64周年祝賀弓道大会

平成30年4月30日(月) 都留市弓道場  
中学生12名、高校生11名、一般(大学生含む)  
51名の合計74名の参加により競技が行われた。  
競技は四ツ矢二回計八射、余興として金的、五色的  
を行った。成績は以下の通り。

都留支部 石倉今光

中学生の部

優勝	竹田 琴美	4中
二位	井上 銀河	3中
三位	小野田 光里	3中

二位、三位は遠近競射

高校生の部

優勝	古屋 梓紗	7中
二位	鈴木 颯太	5中
三位	坂本 竜生	4中

一般の部

優勝	鍵和田 哲史	8中
二位	豊田 浩正	7中
三位	森野 洋二郎	7中

二位、三位は遠近競射

### 第39回あやめ祭り弓道大会

平成30年5月13日(日)  
第39回あやめ祭り弓道大会が富士川町殿原弓道場  
で、遠くは埼玉県や神奈川、静岡県から、また  
県下全域より合計85名の弓友が参加し行われま  
した。今年は、あやめも盛りを少し過ぎていま  
したが、新緑のなかきれいに咲いていました。天気予  
報は午後から雨で、天気予報が外れることを願いな  
がらの開会式でした。あいにく屋前から雨になっ  
てしまい、午後からの遠的の競技を中止とさせてい  
たきました。

競技は近的8射、遠的4射を個人戦で行いました。  
近的は、甲府の中澤さんが、前年に続いての優勝で  
2連覇でした。おめでとうございます。

遠的は、競射が雨で出来なかったため、3 中者を全員 2 位とさせていただきます。

参加された弓友の皆さんのご協力もあり、無事大会を終了できました。

富士川町弓道部 部長 望月 博

### 近的

1位	中澤 国弘	8中	甲府市
2位	青島 勉	6中	中央市
3位	森 富士雄	6中	静岡県
4位	佐野 辰巳	6中	南部町
5位	関口 二郎	5中	埼玉県
6位	山下 弘行	5中	山梨市
7位	森野洋二郎	5中	富士吉田市
8位	外川 和樹	5中	富士吉田市
9位	野瀬 武博	5中	埼玉県
10位	小林 忠光	5中	身延町

### 遠的

1位	下田 徹	4中	埼玉県
2位	小林 廉	3中	都留市
2位	横野 岳友	3中	静岡県
2位	北野 達夫	3中	埼玉県
2位	野瀬 武博	3中	埼玉県
2位	関口 二郎	3中	埼玉県
2位	外川 和樹	3中	富士吉田市
2位	中澤 国弘	3中	甲府市

### 3月24日(競技第1日目)

#### ◆男子団体5人制

予選(20射)

#### 甲府工業 14中 予選通過

吉田 9中

決勝トーナメント(20射)

1回戦

甲府工業 対 高崎(群馬) 9対12

#### ◆女子団体5人制

予選(20射)

#### 吉田 15中 予選通過

山梨 8中

決勝トーナメント(20射)

1回戦

吉田 対 作新学院(栃木) 11対12

### 3月25日(競技第2日目)

#### ◆男子団体3人制

予選(12射)

#### 甲府工業 9中 予選通過

吉田 7中

決勝トーナメント(12射)

1回戦

甲府工業 対 慶應義塾(神奈川) 8対9

#### ◆女子団体3人制

予選(12射)

#### 吉田 9中 予選通過

山梨 3中

決勝トーナメント(12射)

1回戦

吉田 対 黒沢尻北(岩手) 11対5

2回戦

吉田 対 青森西(青森) 9対6

準決勝

吉田 対 青森中央(青森) 11対8

決勝

吉田 対 草加西(埼玉) 9対8 **優勝**

吉田は射道優秀賞を獲得

## 高体連

### 第17回 東日本高等学校弓道大会 吉田高校みこと女子団体優勝!

#### 射道優秀賞獲得

あいづ総合体育館特設弓道場(福島県会津市)  
平成30年3月23日(金)~25日(日)

東日本大会へは、本県から男子は甲府工業と吉田、女子は山梨と吉田が出場しました。競技1日目は5人立ち、2日目は3人立ちの競技を、それぞれ1回の予選の後にトーナメント戦で行う大会です。

女子団体3人立ちでは、吉田高校が見事に優勝と射道優秀賞を獲得しました。

高体連 青野孝文

### 総務部から

県内大会・講習会の申込みおよび受付手続きの迅速化・省力化を目的として、従来のFAX・郵送による申込みに加え、電子メールによる申込みも7月開催分から可能とします。申込みは山弓連ホームページから申し込むことができますが、申込みは従来どおり、支部単位での申込みとなります。各支部では申込み担当者を選任し、多くの支部が活用していただけますよう、お願いいたします。

### 編集後記

新年度を迎えると同時に桜も駆け抜けていってしまいました。すでに各種大会、審査も始まっています。多くの方がこの紙面を賑わせていただけることを願っています。

ご意見、ご要望を下記にメール頂ければ幸いです。

koho39ren@tb4.so-net.ne.jp (綿奈部)